

【令和4年5月18日第76回対策本部会議決定事項（「大阪モデルの見直しについて」）】

◆ ステージ移行については、指標の目安の到達状況を踏まえつつ、感染状況や医療提供体制の状況、感染拡大の契機も十分に考慮し、専門家の意見を聴取したうえで、対策本部会議で決定する。

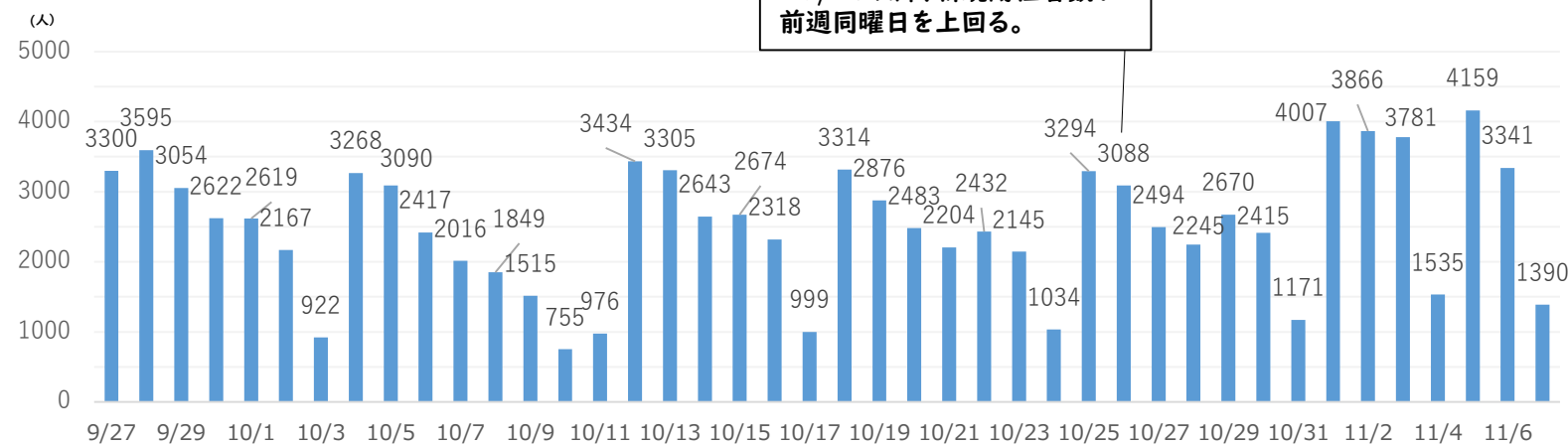
【大阪モデルの状況】 11月6日に「警戒（黄信号点灯）」の目安に到達。

	警戒の目安	10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7
1. 直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	明らかな増加傾向	197	205	214	229	221	237	248	250
2. 病床利用率	20%以上	17.6%	17.9%	18.5%	18.5%	19.4%	19.8%	20.6%	20.9%
3. 重症病床利用率	10%以上	2.0%	2.5%	2.9%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%	3.7%
信号	1かつ2または3の目安に達した場合 黄								

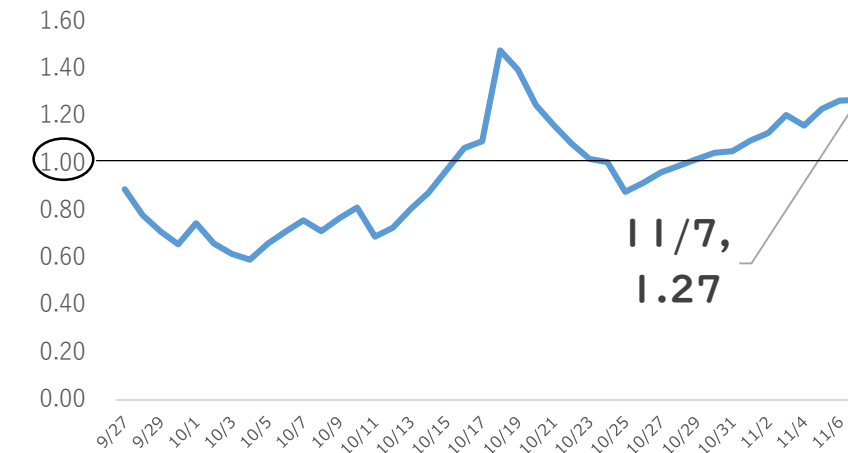
※医療機関休診により、退院状況の確認が困難な場合、退院者が入院患者に含まれることから、翌日公表する入院患者数が、実入院患者数を上回ることがある。

【新規陽性者数の推移（11月7日時点）】

10/26以降、新規陽性者数が前週同曜日を上回る。



【新規陽性者数前週増加比（11月7日時点）】



○新規陽性者数が明らかな増加傾向にあること、また、病床利用率が目安に到達したことから、「警戒」に移行（黄信号点灯）する（適用日：11月8日）。（感染状況）

- ・10月16日以降、新規陽性者数前週増加比が概ね1を超過し、前週同曜日増加比も10月26日以降1を超過。
- ・感染拡大兆候探知の指標となる20・30代の新規陽性者数7日間移動平均前日比が1を超過。
- ・陽性率が10月下旬より増加傾向。
- ・陽性者登録センターにおける自己検査数が増加傾向。